

陳 情

平成28年12月須賀川市議会定例会

陳情番号	受理年月日	陳情名	陳情者	資料ページ
陳情第3号	H28.8.29	中国共産党政府による法輪功迫害の停止と、臓器の強制摘出の停止のため日本政府の正義の行動を求める意見書に係る陳情	東京都荒川区 [REDACTED] NPO法人 日本法輪大法学会 東京事務局 代表 佐藤マチ子	1~6

平成 28 年 8 月 22 日

須賀川市議会 議長 広瀬 吉彦 殿

(陳情者)

〒116-XXXX 東京都荒川区XXXX

NPO 法人 日本法輪大法学会 東京事務局

佐藤マチ子(代表)・張曉光(担当)

(電話XXXX-XXXX)

中国共産党政府による法輪功迫害の停止と、臓器の強制摘出の停止のため
日本政府の正義の行動を求める意見書に係る陳情

【陳情理由】

中国の伝統的な気功修煉法・法輪功（ファルンゴン）は、心の修養を重んじ、道徳心の向上を求めるところから、個人の健康だけでなく、社会風紀の改善にも良い作用をもたらしており、1998年には、中国公安部の統計で中国国内だけで7千万から1億人の愛好者がいました。法輪功は組織性も政治的活動もなく、全くの個人修煉ですが、当時の共産党員数を上回る愛好者の数に恐れを感じた江沢民元国家主席は、1999年7月、法輪功に対して不当な大弾圧を発動しました。

以来、数十万人の法輪功愛好者が違法監禁、強制労働、残酷な拷問、性的暴行等、ありとあらゆる迫害を受けています。

なかでも最も残酷な迫害は、生きている人間から臓器を強制摘出し売買することで、その主たる対象が法輪功愛好者です。その実態は、カナダの元国會議員と人権弁護士が、詳細な調査を経て2006年にカナダ政府に提出した報告書によって明らかとなり、その後の調査で、臓器の強制摘出が中国国内で今なお行われていることが判明しています。

中国共産党政府によるこれらの悪行は、決して容認することのできない深刻な人権犯罪であり、米国、欧州議会等海外諸国ではそれを強く非難する議案が可決されており、我が国も一刻も早く正義の行動を起こすことが求められています。

また、日本国民を中国共産党政府の人権犯罪の共犯者にさせないために、日本国民が臓器移植の目的で中国に渡航することを禁止すべきです。

さらには、駐日中国大使館の公式ホームページに法輪功を誹謗中傷する文章を掲載するなど、駐日中国公館による法輪功に対する誹謗中傷・妨害がここ日本において公然と行われており、このような行為は決して許されるものではありません。

以上の実情から、次の事項を陳情いたします。

【陳情事項】

1. 次の A、B、C 各号の実現のため、貴議会から日本国政府ならびに関係機関に意見書（別添）を提出していただきたく、ここに要望いたします。

(A) 中国共産党政府による法輪功愛好者に対する身体拘束と拷問、ならびに法輪功愛好者およびその他の良心の囚人からの臓器強制摘出を公に非難するとともに、即時停止するよう中国政府に求める。

(B) 日本国民を中国共産党政府の人権犯罪の共犯者にさせないために、日本国民が臓器移植の目的で中国に渡航することを禁止すべく、必要な法整備を行う。



(C) 日本国内において、駐日中国公館による法輪功に対する誹謗中傷・妨害を即時停止するよう、駐日中国公館ならびに中国政府に求める。

本件の特殊性から、意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、国家公安委員長、警察庁長官に提出していただきますよう、お願ひいたします。

2. 本件は極めて深刻かつ複雑であることから、ぜひとも貴議会にお伺いし、議長ならびに議員の皆様にご説明させていただきたく、ここに要望いたします。

以上

----- 付録1 中国共産党政府による臓器狩りの摘発過程 -----

■1992年5月 法輪功が中国社会で伝え始まる

■1999年7月 中国共産党政府による弾圧が始まる

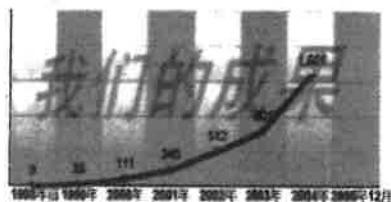
拷問で死亡者数： 4000人以上（これは身元が確認できる範

囲で、実際の死亡者数はそれの10倍以上とも言われる

不法に刑務所・強制収容所に拘束される人数： 常時数十万

■2000年以降 中国国内での臓器移植件数が急増

交通大学医院肝臓移植センターがHPで公開した情報 ⇒



■2006年3月8日 米国移住のピーター氏が法輪功学習者の臓器を摘出する秘密収容所の存在を暴露 (<http://www.epochtimes.com/gb/6/3/9/n1248687.htm>)

■2006年3月17日 米国移住のアニー氏が、医師である元夫が3年間にわたって、生きた法輪功学習者から角膜を摘出してのことや、同「中西医結合治療センター」が臓器奪取のために法輪功学習者を監禁していたことを暴露 (<http://www.epochtimes.com/gb/6/3/17/n1257362.htm>)



実際臓器狩りの対象とされた、法輪功学習者の王斌氏 ⇒

■2007年1月 カナダ人権弁護士のデービット・マタス氏と元国会議員のデービット・キルガー氏による独立調査の報告書『BLOODY HARVEST（戦慄の臓器狩り）』が公表される。 (http://organharvestinvestigation.net/report0701/BloodyHarvest_Final_Edition9_A4rev.pdf)

□法輪功学習者の迫害による死亡者数と身元不明者数 □迫害される学習者が受ける血液及び臓器検査 □移植手術の待ち時間は数日～2週間：巨大な臓器バンクの存在を示唆

□移植希望者と名乗り行われた電話調査（法輪功学習者の臓器が移植に使われるとする証言の録音が多数）など

付録2 各国議会の決議

■2013年12月12日 欧州議会が中国当局の強制的な臓器摘出に対して、即刻止めるよう中国政府に求める決議を可決

■2016年6月13日 中国当局が行っている法輪功学習者に対する強制的な臓器摘出を非難する「343号決議案」が米下院議会で満場一致で通過

付録3 各国の立法の動き（例）

■イスラエル 2008年3月に「改正臓器移植法」が成立。新臓器移植法では、移植のための中国への渡航を禁止するなどの内容が盛り込まれた。

■台湾 2015年6月台湾立法院は「人体臓器移植条例」の修正案を可決。この修正案は不法な臓器売買を禁止し、「海外で臓器移植手術を受けた場合、ドナーの身分証明書を提出しなければならない」

中国共産党政府による法輪功迫害の停止と、臓器の強制摘出の停止のため
日本政府の正義の行動を求める意見書（案）

【意見書を提出する理由】

中国の伝統的な氣功修煉法・法輪功（ファルンゴン）は、心の修養を重んじ、道徳心の向上を求めるところから、個人の健康だけでなく、社会風紀の改善にも良い作用をもたらしており、1998年には、中国公安部の統計で中国国内だけで7千万から1億人の愛好者がいました。法輪功は組織性も政治的活動もなく、全くの個人修煉ですが、当時の共産党員数を上回る愛好者の数に恐れを感じた江沢民元国家主席は、1999年7月、法輪功に対して不当な大弾圧を発動しました。

以来、数十万人の法輪功愛好者が違法監禁、強制労働、残酷な拷問、性的暴行等、ありとあらゆる迫害を受け、名前がわかっているだけで4千人以上が命を奪われています。

なかでも最も残酷な迫害は、生きている人間から臓器を強制摘出し売買することで、その主たる対象が法輪功愛好者です。その実態は、カナダの元国会議員と人権弁護士が、詳細な調査を経て2006年にカナダ政府に提出した報告書によって明らかとなり、世界に衝撃を与えました。そして、その後継続して発表されている新たな事実によって、臓器の強制摘出が中国国内で今なお行われていることが判明しています。

中国共産党政府によるこれらの悪行は、決して容認することのできない深刻な人権犯罪であり、米国、欧州議会等海外諸国ではそれを強く非難する議案が可決されており、我が国も一刻も早く正義の行動を起こすことが求められています。

また、日本国民を中国共産党政府の人権犯罪の共犯者にさせないために、日本国民が臓器移植の目的で中国に渡航することを禁止すべきです。

さらには、駐日中国大使館の公式ホームページに法輪功を誹謗中傷する文章を掲載するなど、駐日中国公館による法輪功に対する誹謗中傷・妨害がここ日本において公然と行われており、このような行為は決して許されるものではありません。

つきましては、国際人権規約を批准している我が国の政府ならびに関係機関には、中国共産党政府による法輪功に対する深刻な人権犯罪を看過することなく、一刻も早く正義の行動を起こしていただきたく、次の3点を要請いたします。

【要請事項】

(A) 中国共産党政府による法輪功愛好者に対する身体拘束と拷問、ならびに法輪功愛好者およびその他の良心の囚人からの臓器強制摘出を公に非難するとともに、即時停止するよう中国政府に求める。

(B) 日本国民を中国共産党政府の人権犯罪の共犯者にさせないために、日本国民が臓器移植の目的で中国に渡航することを禁止すべく、必要な法整備を行う。

(C) 日本国内において、駐日中国公館による法輪功に対する誹謗中傷・妨害を即時停止するよう、駐日中国公館ならびに中国政府に求める。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

市議会

下院第343決議案

米下院議会

2016年6月13日

臓器移植という医療技術が倫理的な基準に基づいて行われるならば、これは現代医学における最大の偉業の一つである。

一方、倫理的な臓器提供は、自発的で同意に基づくものであることが前提であるが、国際的な医療組織は、自由を奪われている囚人たちが自由に同意を表明できる立場なく、従って囚人を臓器供給源とするのは医療の倫理的指標に違反していると説明している。

また、中華人民共和国と中国共産党は、多くの臓器が同意のない囚人から摘出されているという報告を否定し続け、また同時に彼らの移植システムに対する独立した検証を妨げている。

更に、中国における臓器移植システムは、WHOが臓器の調達経路に対して要求している透明性とトレーサビリティーを遵守していない。

米国務省は、2014年における中国の人権に関する報告書の中で、「人権擁護団体は、囚人からの臓器摘出の実例について、引き続き報告している」と説明している。

2014年12月、中国人体臓器提供・移植委員会の黃潔夫主任委員は、中国は死刑囚からの臓器摘出を、2015年1月1日までに停止すると発表した。しかし、良心の囚人からの臓器摘出については、対処を怠っている。

法輪功は、真・善・忍という理念に基づく瞑想と「気功」を含む精神修養法であり、1990年代に爆発的な人気を博した。

1999年7月、中国共産党は、精神修養法の法輪功を根絶するため、集中的な、国上全体におよぶ迫害を始めた。これは、市民による、多数のグループを排除するという同黨の長年の性質を表している。

1999年より、数千人におよぶ法輪功修煉者は超法規的に、労働収容キャンプ、収容センター、刑務所など、拷問と虐待が日常的に行われている場所に拘束されている。

数多くの収容施設や労働キャンプの中では、良心の囚人である法輪功修煉者が大多数を占め、彼らの拘束期間は最も長期にわたり、扱われ方は最悪であると言われている。

2015年、フリーダムハウスは、中国における良心の囚人の多くは法輪功修煉者であり、死亡、殺害されるなどの被害に遭うリスクが高いと報告している。

2006年、カナダの調査人で人権弁護士のデービッド・マタスと、前アジア太平洋州担当大臣のデービッド・キルガーは、中国で法輪功修煉者が臓器狩りの被害に遭っているという告発に対し、独自に調査を行った。その結果、2000年から2005年にかけて行われた41,500件の臓器移植について、法輪功修煉者のみが考えられる臓器の提供源であると結論づけた。

彼らの報告書は、中国政府のエージェントが「同意のない法輪功修煉者たちから、大がかりな臓器収奪」を行っており、彼らの主要な臓器は「無理やり収奪され、時に外国人に向けて高値で売られている。外国人が自国で、自発的な臓器提供を求める場合は、長期的に待たなければならないはずである」と報告している。

マタスとキルガーは、公安や軍病院を含む、国家と党の機関が違法な臓器狩りに関与していると示唆している。

調査人でジャーナリストのイーサン・ガットマンは、2000年から2008年にかけて、およそ65,000人の法輪功修煉者たちが臓器のために殺されており、ある程度の他の宗教や少数民族の人たちもターゲットになっていると推定している。

ガットマンは、中国公安局は主に、ウイグルの政治犯を含むムスリムのウイグル人を対象として臓器狩りを始めたと報告した。

国連拷問禁止委員会と拷問に関する特別報告官は、法輪功修煉者を対象とする臓器狩りについての告発について懸念を表明している。また、中華人民共和国に対し、臓器移植システムについての説明責任と透明性を求め、それらを濫用する責任者に刑罰を与えるよう要求した。

移植を目的とした臓器売買のために、宗教、あるいは政治的な囚人を殺すことは言語道断の、容認できない基本的な生命に対する人権侵害である。従って、

米下院は：

- (1) 中華人民共和国で、国家認定のもとで行われている強制的な臓器狩りの行為を非難する
- (2) 中華人民共和国の政府と中国共産党に対して、直ちに、すべての良心の囚人から臓器を収奪することを停止するよう要求する。
- (3) 中華人民共和国の政府と中国共産党による16年に及ぶ法輪功に対する迫害を直ちに停止し、法輪功修煉者たちとその他の良心の囚人を直ちに釈放することを要求する
- (4) 中国の非倫理的な臓器移植についての意識を高めることを促進するよう米国の医療従事者のコミュニティーに提案する
- (5) 中華人民共和国が、臓器移植の濫用に対して、信頼性と透明性のある、独立した調査を受け入れることを要求する
- (6) 米国国務省に対し、年次人権報告書に書かれている、国家認定のもとで行われている良心の囚人を対象とした臓器狩りについて、より詳細な分析を実施すること、また、強制的な臓器、あるいは生体組織の移植に関わる中国人および他の国籍の人間に対するビザの発行の禁止（合衆国法典第8編第1182条）を実行することについて、毎年議会に報告するよう要求する